

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 514 号	氏名	原 敦 子
学位審査委員		主 査	上 平 憲
		副 査	伊 藤 敬
		副 査	永 安 武
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、治療抵抗性で予後の悪い特発性肺線維症 (IPF) を臨床的に鑑別困難な類似の肺繊維性疾患と区別できるバイオマーカーの探索しようとするもので目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 IPF の BALF (Bronchoalveolar Lavage Fluid) サンプルから予備実験にて S100A9 蛋白が新規のバイオマーカーになることを予測し、類似の疾患群の血清・BALF 中のその濃度を測定し、種々のパラメーターと統計学的に比較し、S100A9 の新規マーカーとしての意義づけをする研究手法は評価でき、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、IPF では特に BALF で他の類似疾患に比較して S100A9 が高く、診断的感度・特異度も各々 96.4% と 87.8% と良く、本蛋白の病因性についても適格に考察されており、十分に評価される。</p> <p>以上のように本論文は IPF のみならず類似の肺線維症の臨床医学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			